



- ◇特集 ポーランドの絵本展
@左京図書館
- ◇Report 中学校図書委員による本の紹介

■ 特集 ■ ポーランドの絵本展@左京図書館

公共図書館と図書館友の会の協働が実って



記念のしおり

2008年1月、左京図書館と共催で「ポーランドの絵本展」を開きました。

会期中たくさんの方々にポーランドの絵本を手にとって頂くことができました。また1月19日に会場を大会議室に移しての展示・お話や読み聞かせ・映画上映の会も盛会で、みなさんにとっても喜んで頂けました。

会期が5日間と短く、しかも大会場では1日のみであったのが、今にして思えば本当にもったいなく残念でしたが、けやきメンバーも、図書館の職員さんたちと共に力を合わせて作り上げることができたと、本当にうれしく思いました。

この展覧会の実現に関わった方々に、報告と感想を寄せて頂きました。

ポーランドの絵本展

2008年1月17日(木)～21日(月)

絵本の展示

1月17、18、20、21日

京都市左京図書館にて

タイトル翻訳/解説：佐々木ボグナさん



ポーランドの
木彫りの小箱

絵本の展示とお話、読み聞かせ、映画上映会

1月19日(土)

左京合同福祉センター3階会議室(左京図書館の上階)にて
10時～16時 ポーランドの絵本の展示

11時より

「ポーランドで出会った絵本」 川端春枝さん

「ポーランド語での絵本の読み聞かせ」

MALGORZATA SZAREK (マウゴジャタ・シャレク) さん

PAWEL SZAREK (パヴェウ・シャレク) さん

映画上映会「ユネスコ世界遺産 ポーランド」

14時より

映画上映会「ユネスコ世界遺産 ポーランド」

ポーランドの絵本展

左京図書館の取り組み

左京図書館長 大見 敏之



今回のポーランドの絵本展に際して、左京図書館では主に次のような取り組みを行いました。

- 1 自館及び他の京都市図書館が所蔵するポーランドの絵本の取り揃え
- 2 国際交流会館が所蔵するポーランドの絵本の借入れ
- 3 ポーランド政府観光局の資料の取り寄せ
- 4 「ポーランドの本めぐり」のスタンプシート及び記念しおりの作成
- 5 ポーランドにある「ユネスコ世界遺産」ビデオの上映

絵本展の企画、具体的な展示、進行等については、各種事業でいつもお世話になっている「けやき」の皆さんのいろいろな提案に基づいて打合せを重ね、上記のような業務について取り組みました。

京都市の図書館が所蔵するポーランドの絵本は、今回の展示で現地から持ち帰られた数多くの絵本を提供していただいた「けやき」会員の川端さんが、図書館のホームページからポーランドの絵本を抽出するという大変な作業によって作成されたリストを提供していただき、これに基づいて左京図書館、中央図書館及び伏見中央図書館から、合計57冊の絵本の翻訳本を取り揃えました。

国際交流会館には、「けやき」からあらかじめ了解を得ていただいたうえで、図書館職員が借入れの手続きを進め、全部で10冊のポーランド語の絵本等を借り受けました。これに川端さんから提供いただいたものと合わせて、合計70冊に上るポーランド語の絵本の1点ずつに、「けやき」のメンバーの方に、日本語を併記したタイト

ルや作者名等を記載したカードを添付していただきました。

会場の展示物等は、川端さんが持ち帰られた民芸品や、ポーランド周辺の地図など、「けやき」の皆さんに用意していただきましたが、ポーランドそのものを紹介するパンフレット等があればと思い、ポーランド政府観光局に問い合わせたところ、美しい写真を中心とした8ページのパンフレットや風景写真を使ったマグネットを快く送っていただきました。(当初の見込みを超える多くの方にご来場いただき、資料が行き渡らなかったことが残念ですが。)

このような準備をしている中で、図書館職員の提案で、「ポーランドの本めぐり」を行って、ポーランド関連の本を10冊読まれた方に記念のしおりをプレゼントすることになりました。早速、本めぐりのスタンプシートの作成と、しおりのデザインの検討が始まりました。しおりに、片面がポーランドの国章(写真上)、反対面は川端さんから展示用に提供いただいた切り絵のうちの1枚のデザインを使用しました(写真1頁)。国章の使用については、念のためポーランド大使館の了解も得ましたが、このしおりは、多くの方からご好評をいただきました。

このほか、ポーランド語による絵本の読み聞かせを行った1月19日の展示会場では、ポーランドに存在する「ユネスコ世界遺産」の一部をビデオで紹介する上映会も行うなど、「けやき」の皆さんのすばらしい設営や展示、飾り付けとあいまって、この日の展示会場はポーランド一色に染まっていました。

左京図書館
ポーランドの本めぐりに参加しませんか?

子どもから大人まで誰でも参加できます。
図書館にある本の中からポーランドに合ったものを選んでください。
この冊子を受付カウンターにお持ちください。
10冊読んだら、特製しおりをプレゼントします。
絵本展で展示している本をはじめ、ポーランドの新たな出会いを楽しんでください。
期間：1月17日～2月末日

●ポーランドの絵本展 1月17日(木)～1月21日(日)
※左京図書館で特別展示を行います。
●ポーランドの本めぐり 1月21日(日)～1月25日(木)
※左京図書館で特別展示を行います。
*1月19日(土)に左京図書館でポーランドの絵本のお話(11時～)と
絵本展「ユネスコ世界遺産ポーランド」(14時～)を行います。
※会場お楽しみしています!

ポーランド
Polska

スタンプシート

1. グダニスク Gdańsk	6. ルブリン Lublin
2. シュチエチン Szczecin	7. ビャウイストク Białystok
3. ポズナン Poznań	8. トルン Toruń
4. ワロツワフ Wrocław	9. ウッチ Łódź
5. クラクフ Kraków	10. ワルシャワ Warszawa

同じ数字の「まき」の表裏の下に、よんだ本の表裏をかいてください。

好評だった「ポーランドの本めぐり」スタンプシート

ポーランドの子どもの本 *カフカは翻訳家や作家の著書ではありません

千尋のうさぎと数珠 (1997年) 児童コーナー
セウのドミニク (1999年) 児童コーナー
そばす先生のおしるな学校 (1999年) 児童コーナー
すばらしいワルシャワ (1999年) 児童コーナー
お話をはこびた鳥 (1999年) 児童コーナー
ハンナのまはら アラビヤの魔法のランプ (31) 児童コーナー

ポーランドの文字、そのほか一般書
ノエルカム/ムシエロウィチ (1989年)
クレムリン/チムニク (1943年)
記録するワルシャワ/機軸二巻 (234)
ポーランドを築くための60年/歴史文庫 (1902)

ポーランドといえば、ショパンやキェリマン、ロマン・ジャコブソン、ワグネルなどの名前が思い浮かびますが、文学の世界では、哲人のシンボラスカが1996年にノーベル文学賞を受賞しています。

*この他にもたくさん本があります。他の図書館からの取り寄せ(予約)もできます。
京都府立図書館 TEL. 772-4032

ポーランドで出会った絵本

川端 春枝

2005～2006年、ポーランドという国で、思いがけぬ外国暮らしを、経験しました。夫がワルシャワ大学へ日本語を教えに行ったからです。私が4ヶ月あまりをワルシャワで暮らすと言うと、修学院の文庫の仲間が「ポーランドの絵本を見てきてね」と言いました。古くは『しずくのぼうけん』、孫が大好きなグレイニェクの『お月さまってどんなあじ?』、カンディンスキやウィルコンの絵本を思い浮かべると、この注文は私にも興味のある捜し物でした。ワルシャワで偶然見た現代画家の個展から受けた不思議なやすらぎが、それら思いつく絵本の絵とどこか通じる感じがしたこと、私をそそのかしました。絵を見てわかるもの、絵の美しいものを探そうと思いました。

ワルシャワに本屋はずいぶんたくさんあります。本を読んでいる人も日本よりたくさん見かけた気がします。地下鉄で、バスやトラム（市電）の中で、また公園のベンチで、人々は読みふけていました。本屋には児童書のコーナーがあり、しかしそこでまず目につくのは『プーさん』『リンドグレーン』『ナルニヤ』『ハリー・ポッター』など、またディズニー風の絵本でした。言葉がわからないので日本学科の学生に助けってもらって探しましたが、「これがポーランドの絵本よ」と、持って帰って見せたいものはなかなか見つか

りませんでした。図書館とか幼稚園とかを覗きたかったが、用件を自分で言えないのですから諦めました。そのうち、バザールに古本屋があることを知り、そこで80年代の絵本を30冊近く見つけ、合わせて60冊ぐらいが手に入りました。

友人には家で見てもらいましたが、もう少し広く見ていただけないかと考えついたのが図書館です。短い滞在でしたが、私たちはポーランドという国がとても好きになっていました。総体にポーランドの人たちは日本を親しく思ってくれています。それが日本では知られていず、親しみどころか「ポーランドって、どこなの？」と言う人の方が多いくらいです。ポーランドを知ってほしいと思いました。

けやき事務局に相談して、左京図書館のご賛同と思いがけぬご協力を得たことは、ほんとうに嬉しいことでした。そして留学生のシャレク夫妻の読み聞かせは、知らない言葉でもリズムを楽しめるという不思議な経験でした。ゆったりした展示を手際よくして下さったけやきスタッフに感謝しています。ただ、それが1日だけだったのは残念で、こういう展示が日常的に再々出来るようなゆとりのスペースが、図書館には必要だということを感じさせられました。

展示準備を楽しんで

「これもポーランドのものなのだけれど。」

ポーランドの絵本展の打ち合わせにいらした川端さんが見せてくださったのは、色鮮やかなポーランドの切り絵でした。家々の部屋の壁に飾られるという、独特の色づかいと繊細に切られた花やにわとりを見ながら、これも絵本といっしょに展示しようということになりました。そして、川端さんのもっておられる地図やほかの民芸品も展示して、みなさんに見ていただくことになりました。その時、ポーランドがヨーロッパのどこにある国かわかる地図も用意しようということになったのですが、なかなか思うものがなく、メンバーの息子さんが大学の図書館で見つけてきてくださったという苦労もありました。

いよいよ展示の準備です。どのように置いたら絵本を

田中 直子

手に取ってもらえるか。絵本に付けた、けやきメンバー手作りの説明カードが見えるようにしよう。地図は拡大し、ポーランドがよく分かるように縁取りし、切り絵はファイルに納め、きれいにペイン

ティングされた木のおさじはリボンで結んで壁面に、卵は転がり落ちないようにかごの中に…。けやきのみんなで、試行錯誤しながら展示の準備をするのは、とても楽しい時間でした。そして、絵本展に来られた方が、地図や民芸品も熱心に見てくださって、よかったです。



展示した切り絵

絵本展でつながるポーランド

佐々木ボグナ

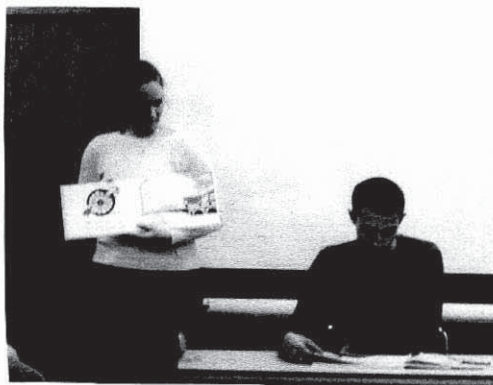
今回、ポーランドの絵本を紹介する企画を手伝わせていただいております。前から思っていたのですが、日本と比べてポーランドでは青少年の文学が注目を浴びたりすることもあります。絵本の位置づけはいまだに低いと思います。絵本が子供の成長には必要でしょうが、専門家以外の大人が本気でそのよし悪しを考える、ましてや自分でも絵本を楽しもうと思う人はまだまだ少ないのではないのでしょうか。それゆえ、今回の絵本展はポーランド人の私にとっても子供の頃親しんできた絵本の良さを今度は大人の目で確かめるきっかけの一

つになり、みんなで絵本を楽しむ「祭り」の雰囲気味わえるという体験も得ることができました。

また、この絵本展は日本人の参加者の皆さんにとって、絵本を通して（ビデオの上映もよかったです）、日本ではまだ馴染みが薄いポーランドという国に少し触られる機会にもなったのではないかと思います。様々な印象を皆さんがもたれたでしょうが、とりあえずこの絵本展が縁でポーランドとのつながりが一つぐらいできたことを、私もうれしく思っています。



ポーランドの絵本
会場で手に取って楽しめた



ポーランド語で絵本を読んでくださったシャレクさん「自国の文化をこういう形で紹介することができてよかったです。朗読を気にいられたならば幸いです。」

[参加者から] * 読んでくださった鳥の本、 目をつむると 私は森の中にいました

大道由香子

寒さが厳しくなってきた1月19日土曜日、左京図書館でポーランドのお話をうかがいました。

参加前私のポーランドのイメージは、申し訳ないほど暗いものでした。たぶん子どもの頃に読んだ『アンネの日記』に起因すると思われ。川端春枝さんのお話の「冬は本当になにもない。しかし、緑の季節は本当に豊かです。」の冬のイメージしかもっていませんでした。

会場に飾られた切り絵の鮮やかさや絵本の多様な表現に徐々にイメージは緩んでいきました。

中でも留学生の女性が読んでくださった鳥の本。ポーランド語はわかりませんが、とにかくたくさん鳥が鳴いていました。まるで本物の鳥が鳴いている様。日本語にない

音がコロコロと転がるように発せられ、目をつむると温暖な森の中にいました。

そしてポーランドの絵本の多くが韻をふんでいる事や詩人が絵本を手がけていることなどをうかがい、色に加え音にも豊かなものを感じました。

芦屋からいらしたポーランド名誉総領事高島さんの「120年以上もの長い間奪われていた母国語を三～四世代も密かに守り続け、国が独立する時に見事に復活させた」とのお話、言葉の大切さや日本語を考える時のヒントをいただけた気がしました。

せっかくのご縁ですので引き続きポーランドを楽しませていただきます。

* 京都家庭文庫地域文庫連絡会発行

「京庫連だより No.07-9」より転載

図書館と友の会・二人三脚

ポーランドの絵本展を開催して

こんなふう企画運営しました

地域の図書館を文化情報発信の場に

公共図書館が地域で文化情報発信の場となって欲しい、これは図書館友の会けやきが活動を始めたときからの願いです。けやきは左京図書館に資料の保存と貸し出しだけに止まらない様々な活動を提案し、実現に協力してきました。1999年に現在地に移転してからの左京図書館では、他の京都市図書館に先駆けて映画上映会や「おとなのための語りを楽しむ会」などが催されました。さらに2002年度からは年1回の講演会や絵本原画展などをけやきが企画し、図書館と共催で実施してきました。

美術館やコンサートホール、大学もたくさんある左京区で、図書館が地域住民の集いの場でもあることに気づいてもらえる、地域の人々が多数参加して図書館に親しみと魅力をいっそう感じるきっかけとなるような行事を、と考へ、地元在住の方を中心にその素晴らしい活動や作品を知ってもらう場を手作りしてきました(表1)。

はじめのうちは年度当初に企画ができず、そのため図書館と十分話し合う時間がもてませんでした。これを反省して、2005年からは次年度計画として早い段階から意見交換できるようになってきました。

ポーランドの絵本との出会い

新年度の企画を考えていた2007年春、会員の川端春枝さんがポーランドからたくさんの絵本を持ち帰られ、みんなに見て欲しいと思っておられることを聞きました。4月初めの事務局会議に川端さんと京都大学のポーラン

ド人留学生佐々木ボグナさんが絵本を携えて来て下さり、たちまちみんなはポーランドの絵本に魅せられ、ぜひたくさんの人に見て頂きたいと思ったのです。そして、京都市国際交流会館図書情報室の協力もお願い出来るのでは、と思いました。

そこで「善は急げ」とばかり4月の左京図書館とのミーティングで、新年度の共催行事としてポーランドの絵本展の企画を早速説明・提案したところ、幸いなことに共催を了承して頂くことができました。以後、大見館長が中心になって、毎月のミーティングごとに「図書館が準備することは？」と相談を持ちかけて下さり、「まだまだ先のこと」とのんびり構えているけやき事務局のお尻を叩いて下さいました。

6月のけやきの総会で2008年1月に実施することが正式に決まり、京都市国際交流会館図書情報室の司書さんに展覧会の内容と実施時期をお伝えして協力をお願いしましたが、夏休みを挟んで月々の活動やニュースレターの取材や作成に追われているうちにあっという間に、日が過ぎていきました。

いよいよ準備にとりかかる

11月に入り展覧会開催まで2ヶ月半となりました。開催日程も確定し、展示の際ポーランド語の絵本につける説明文や展示絵本リストを作成する作業を始めました(担当:北園)。ポーランド語の入力や翻訳は佐々木ボグナさんがして下さいました。日本で翻訳出版されているポーランドの絵本もあわせて展示できるように、京都市図書館にある絵本をリストアップして、それらを絵本展の会期中左京図書館に集めていただくよう図書館にお願いしました。

一方、広報に関しては、まず11月末に発行したけやきニュースレター26号で簡単なお知らせをしました。つぎ

表1 けやき・左京図書館 共催講演会・原画展

年度	催し名	講師・作者	
2002	講演会	ゴリラの絵本をつくる	山極 寿一氏
	原画展	絵本「ゴリラとあかいぼうし」	講演会と同時開催
2003	講演会	うたっておどってアフリカ!アフリカ!	伏原納知子氏
	原画展	絵本「ジンガくんいちばへいく」原画展	講演会と同時開催
2004	原画展	石部虎二 絵本「ゆりかもめ」原画展	石部 虎二氏
2005	講演会	読み語り「みなまた 海のこえ」	金森 順子氏
2006	講演会	「豊かさと貧しさ」の中の子育て—ベトナムからの報告	坂東あけみ氏

十九日の絵本展会場
たぐさんの絵本が並んで



に図書館や各施設・子どもの本関係の団体・絵本関連の行事会場などで配布する案内チラシを作成しました。当初、会場に展示するポーランド語の絵本の表紙写真をチラシに掲載したいと思いましたが、著者の承諾が必要とのことで、断念しました。京都市の他の図書館や新聞社へは図書館が広報して下さいました。京都新聞以外の一般新聞には行事欄にも掲載されず、また当日新聞社の取材がなかったのが残念でした。フリーペーパー等広く市民が目にする情報紙にも早い目に情報を出しておけば良かったと悔やまれます。

絵本の解説、読み聞かせ、展示品…

師走の慌ただしい空気の中、準備作業は進みます。12月3日の事務局会議と図書館とのミーティングで、まだまだ手探りながら具体的な内容が次々に決まっていきました。ボグナさんの紹介で京都大学に留学中のパヴェウ・シャレクさんとパートナーのマウゴジャタさんがポーランド語で絵本を読んで下さることになりました。絵本の解説を記したカードの形式や取り付けの方法をみんなであれやこれやと相談しながら決めたのもこの日でした。絵本以外にポーランドの位置を示す地図や川端さんが持ち帰られたポーランドの民芸品なども飾り、雰囲気盛り上げようということになりました。「京都市図書館所蔵の本は展示しているものを借り出すことができたらいいね」との声を図書館に届けると、すでにその方向で手配と準備をして下さっていました。

念願の映画上映会とのリンク成る

また、今年度の図書館主催の映画上映会はユネスコ世界遺産シリーズを上映しているのですが、館長さんの解説もあり毎回とても好評なので、絵本展の期間にもそのポーランド編を上映したいと図書館に提案しました。すると、早速手配をして下さりすぐに準備が整いました。

実は6月のけやき総会の折に出た「絵本展といっしょにポーランド映画の上映会なんてステキ」という声がずーっと私の頭にあり、国際交流会館や京都府国際セン

ターを覗いてみたりインターネットで検索したり、ポーランド映画の名作をご好意で貸して頂けるようなところはないかと模索したのですが、そんな甘い話を見つけることはできませんでした。

でも、ポーランドという国を知る手がかりの一つとして、絵本展に併せて「世界遺産シリーズ ポーランド編」を上映することができ、またその結果、絵本展が左京図書館の映画上映会という恒例行事とリンクすることもできて、とてもよかったです。

展示方法の知恵を出し合う

12月27日に図書館と展示に必要な備品の確認や年明け早々のスケジュールの打ち合わせを行っていたのですが、年が明けていよいよ絵本の搬入も全て終わり展示方法を具体的に考える段になって、いろんな問題が出てきました。

図書館内の展示可能なスペースが思っていた以上に狭く利用者の邪魔にならないためには長机が3台しか使えない、また壁面展示のパネルも画鋸が使えない、等々。副館長さんが衝立を使うアイディアをだして下さいだったり、図書館とけやきのみんなで知恵を絞りさまざまな工夫をしました。

展示絵本リストの原稿、ヨーロッパの中のポーランドの位置が一目でわかる地図の用意など、簡単に考えていたことが思いの外に手間取りました。

そしていよいよ絵本展の前日、8名が午後6時に集合し、絵本に解説カードをソフトゴムで取り付け、地図や、写真、切り絵、木彫品などを展示出来るよう整えました。そして7時の図書館閉館後に本格的な展示作業に入り、展示絵本リスト（館長さんが印刷して下さいました）とポーランドの観光パンフレット、それに司書さんが作って下さったすてきなリーフレット「ポーランド

冊数	書名	文・挿絵	原	冊数	
100	O krolewnie Sniezna	しゆき姫	Libera BARDUTYNSKA	イリナ・バドゥチンスカ	100
101	Sokolowca i las	ワシと森	Jan SIECZKA	ヤン・シエツカ	100
102	Krakowczyk	クラクワの子	Wanda CYBOTANIEC	ワンダ・キョトニェツ	100
103	Mobykcalo i inne wiersze	子守歌集	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
104	Przyjemnie, czy jestek ciuomnica?	すてきな、あなたは何歳ですか	Emilia KOSCIK	エミリア・コスチク	100
105	Halka	ハルカ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
106	Kolobrzec	コロブツェツ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
107	Wieszak	ワシ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
108	Zlota kaczka	金のカキ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
109	Odwiedzajcie	おたづね	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
110	Skazaniek	シカザニェク	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
111	Maly Perzaniak	小ワシ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
112	Troj bratki	三人姉妹	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
113	Isa i Malgosia	イサとマルゴシヤ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
114	Zielony mlody, rudy brzozy!	緑の若木、赤い若木	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100
115	Rozpka	ロズプカ	Henryk GIERGIEWICZ	ヘンリク・ギェルグィエツ	100

展示絵本リスト

の本めぐり」を絵本の横に並べ終えた時には、午後9時を過ぎていました。大見館長も最後までいっしょに作業して下さいました。

絵本展が始まる

初日の17日、次の18日、覗いてみると、おとなの方が数人絵本を手にとってみて下さっていました。リストやパンフレットもぼちぼち持って帰って下さっているようで、ほっとしました。それが土曜日や日曜日になって小学生がたくさん来るようになると、「ポーランドの本めぐり」のスタンプラリーでポーランドに関する本を10冊読むともらえる図書館手製のしおりが大人気、子どもたちが競って絵本を借りスタンプを押してもらいにカウンターにやってきました。このスタンプラリーは絵本展終了後も2月29日まで行なわれていました。

ポーランド語の響きを感じながら

19日、会場を3階大会議室に移しての会は 開場前から待っていてくださったポーランド語を学んでいる男性、昨秋の「読み聞かせ交流会」に参加していた小学校の絵本ボランティアの方をはじめ何組もの親子、市内のあちこちからそして市外からも参加者があり、もちろん図書館で情報を得た地元の方も多く、午前中の川端さんのお話とポーランド語での絵本の読み聞かせの時間には

50名近い方の参加がありました。

子どもたちは、ポーランド語の調子の良い読み聞かせに豊かに反応し、とても楽しんでいました。また、川端さんからこの絵本展のことをお聞きになったポーランド共和国名誉総領事の高島和子さんがいらして下さり、ご挨拶をいただきました。川端さんのお話とも併せて、ポーランドの歴史や言葉について学ぶとともに、翻って我が国の歴史・言葉についても考えさせられる、示唆に富んだお話でした。

本当に熱心な参加者に恵まれ、また、一つひとつの展示やプログラムが心の籠ったすばらしいものと多くのみなさんに喜んで頂けて、とてもうれしく思いました。

(永井)



たくさんの参加者が熱心に

けやきの 本棚 27

今回はポーランドの本を紹介します

子馬とカバ

ヨゼフ・ウィルコン作 絵

いずみちほこ訳

セーラー出版 90年

ある日、子馬とカバが出会いました。このふたりは、見た目は馬のようであり、見れば馬ではありません。そこでもいまい、相手の特技を真似ることにより「ほんとの馬」を目指そうとします。1年をかけて、子馬は泳ぎを、カバはかけ足を覚えようとしたのです。さて、1年後にふたりが気付いた大切なこととは。

そばかす先生の

ふしぎな学校

J・ブジェフバ作 J・M・シ

ンツェル絵 内田莉莎子訳

学習研究社 71年

そばかすさんだらけのクレクス先生の学校は驚きの連続。先生の超能力は言うまでもなく、童話の国から主人公がやってきたり、月世界へ先生の右目が行ったり。しかし人形が生徒になって学校はピンチになる。先生はどんどん縮み、ついに小さなボタンになってしまつた。不思議な味わいのポーランド

の童話。2005年復刊。

(会員・北園)

竜の年

ヨアンナ・ルドニヤンスカ著

田村和子訳

未知谷 99年

一日の大半を読書で過ごす祖母、美しい手で織りものをする母、そして、弁護士父は無口な人。14歳の誕生日に、魔法のせいで父が竜に変身していることを知ったシルヴィヤは、魔法を解くため、竜との戦いにでかけます。「竜の年」は子どもから大人へと変わる年を意味します。ポーランドの歴史や伝説を織り込みながら、時空を行き来する幻想的な物語。(Tさん・左京図書館)

ガラスの盾

ナチスからワルシャワ王宮

を守った人たちの物語

マリア・アンジェイ・シポフス

草の根出版会 95年

本を開くとすぐにあなたは60余年前ナチス占領下のワルシャワの王宮に近い道端にいて、二人の青年のさりげない会話を聞くでしょう。それは危険きわまりない文化財救出地下闘争の相談のささやきでした。祖国復活を信じて命をかけた人々の物語です。彼らは「文化の中にこそ国民の力の源泉がある」と信じていました。

(会員・川端)

中学校図書委員による本の紹介ポスターを展示

2008年2月2日～11日

"老若男女が自己実現のための一つの場として左京図書館との関わりを持って欲しい"という思いが、図書館友の会「けやき」の活動エネルギーとなっています。

その活動の中で気に掛かっていたのが、中高生の利用が少ないのではないかと、ということでした。2007年6月の図書館との懇談会の席でも、司書の方からそれを裏付けるお話を伺いました。

そこで、けやきから中学生が左京図書館との関わりを持てる一つの方法を提案をしてみました。それは、各中学校で図書委員が自分たちの推薦する図書をポスターで紹介していますが、それらのポスターを左京区図書館でも展示できないだろうか、というものです。同じ学校の生徒に向けて、この本をぜひ読んで、という気持ちのこもったものが多く、校内に掲示されているポスターを保護者として見かけたけやき会員が、中学生発信の情報をぜひ多くの人に知ってもらえれば、というところから始まったアイデアです。

この提案を受けて大見館長が早速左京区の市立中学の校長会に作品の提供を依頼して下さった結

果、2中学校の協力が得られることになり、今回の左京図書館での展示となったわけです。

修学院中学校から19点、近衛中学校から22点の作品が寄せられ、2月2日から左京図書館内に展示されました。

そのお薦め図書は『水滸伝』や『星の王子さま』などの古典もありました。作者としては、万城日学や島中恵、あさのあつこなどの人気作家、またお菓子作りや手芸などの本も紹介され、バラエティに富んでいます。手描きの熱のこもったポスターに、若い情熱とエネルギーを感じました。また、ポスターで紹介された本のうち、何冊かが展示されており、ポスターを見ながら実際の本を手にとれると好評でした。

これらのポスターに刺激されて実際に本を購入して読んだという声も耳にしました。

他の中学校のお薦め本もまた紹介して欲しいものです。
(増井)



けやきの活動 07年11月～08年3月

11/～	ポーランドの絵本展準備本格化 説明文・リスト作成作業開始	1/月上旬～	絵本展、展示の準備開始	3/22	図書館の壁面を飾る会 (図書館主催行事には協力)
11/2.9.16	「読み聞かせ」交流会	1/16	絵本展、会場準備	・11/24. 1/26. 2/23. 3/22 (第4土曜)	
11/9	「読み聞かせ」交流会打ち合わせ	1/17～21	ポーランドの絵本展	図書館おたのしみ会に協力	
11/17	第7回おとなのための 語りを楽しむ会	1/18	絵本展3階会議室会場準備	・11/30. 12/21. 1/25. 2/22. 3/14	絵本学習会
11/27	ニュースレターNo.26印刷発送	1/19	絵本展 読み聞かせとお話の会 映画上映会	・11/29. 12/6.13. 20.27. 1/10.17.24.31. 2/7.14.21.28. 3/ 6.13.27	
12/14	絵本展チラシ印刷・配布	1/23	増田邦雄氏講演会に出席	(毎週木曜10:30～12:00)	
12/15	冬のスペシャルお楽しみ会	2/28	右京中央図書館について もっと話を聞く会に出席	絵本コーナーで‘あかちゃんに 絵本を’サポーター活動	
12/22	絵本コーナーの飾りを作る会	2/29	左京区ボランティア連絡会に出席	・12/3.1/7.2/4.3/3. (第1月曜が基本)	
1/7	絵本展の絵本を搬入	3/7	第24回映画上映会、 次年度候補作品試写会	事務局会議・図書館とのミーティング	
1/月上旬～	ニュースレターNo.27編集				

TOPICS

絵本コーナーの壁面を飾る会

3月22日

今回のテーマは「大ちゃんに春が来た」。オオサンショウウオの大ちゃんは、長谷川司書デザインの左京図書館のマスコットキャラクターです。常連の中学1年生朱夏さんが中心になり、子どもたちも多数参加して、楽しく飾りを作りました。

長年絵本コーナーをあたたかく飾ってきたこの活動ですが、今回で終了することになりました。2003年から担当



し、いつも新鮮なアイデアで楽しく指導して下さった筒井紀恵さん、酒井麻美さん、ありがとうございました。

左京図書館での経験活かし 市民の声を反映した

元左京図書館館長

右京中央図書館開設準備室長

増田邦雄氏 講演会

「私の図書館づくり」



京都市子ども文庫連絡会連続学習会「図書館を学ぼう」第3回は、現左京図書館の新築移転時の館長でこの6月にオープンする右京中央図書館の開設準備室長である、増田邦雄さんのお話をお聞きしました。

増田氏は左京図書館移転の2年前に館長に赴任。以来、立ち上げから関わった岩倉図書館での経験を生かし、図書館員の眼で新図書館の設計を全面的に手直しし、さらにけやきの前身の新左京図書館を考える会をはじめ地域の利用者の声にも熱心に耳を傾けてくださり、これまでにない「誰もが利用したくなる」魅力的な施設づくりに精力的に取り組みされました。

また運営面でも、新左京図書館で4年間に渡り、他の地域図書館の先駆けとなる試みを先頭に立って次々と実践してこられました。「図書館と利用者が手を携えての図書館づくり」をめざす図書館友の会けやきの活動は、増田館長の積極的な理解と支援のもとで育って行きました。

講演会では、そのような左京図書館でのけやきとの協働体験を踏まえて、右京中央図書館でも、ワークショップや市民アンケートなどで出た、市民の声を活かした図書館づくりを進めてきた、と話されました。増田さんの図書館に関わる真摯な姿勢と熱い思いが、

会場の多数の参加者にもひしひしと伝わりました。

参加者の右京区の男性は「長い間図書館に関わって来られた増田さんたちの努力と、左京区の「けやき」のような市民の活動が図書館の充実を育み出し、他にも広げて、その集大成のような図書館が、規模・内容と共に右京図書館として実現することに、6月の開館を心待ちにしています。増田さんの話しておられた「市民の意見をとり入れた図書館づくりができた」というその内容に確信を実感しました。「けやき」のような活動に学び、「サンサ右京・図書館」に微力ながら私も努力したいです」と感想を述べておられました（原文のまま、市庫連ニュース2007-No.6より）。

増田さんのお話を聞いて、京都市の「図書館づくり」が私たち利用者と同じ方向を向いて進められていることを再確認でき、参加者一同とてもうれしく思いました。そして、お話の中でけやきの活動に触れて下さったお陰で、我々が報告した前回の学習会（けやき26号参照）とはまた違った角度から参加者の方にけやきの活動を知って頂くことができ、けやき会員としてとてもありがたく思いました。（永井）



2008年1月23日 京都アスニーにて

◇◇◇ 右京中央図書館が6月に開館 ◇◇◇

地元住民の要望を受け建設が決まってから5年、いよいよ6月に、右京中央図書館が開館します。

場所は地下鉄東西線太秦天神川駅前の“SANSA右京”の3階。図書館の平面図と概要は、京都市図書館のホームページ（右京中央図書館開設準備室のページ）に詳しく紹介されています。電子メディアゾーン、ティーンズコーナー、おはなしのへや、交流室、研修室など長く待ち望まれていた設備が揃い、たくさんの閲覧席や畳のコーナー・屋外テラスもあってゆったり読書を楽しめそう。

市内北東部にもこんな図書館があったらと羨ましい限りですが、まずは、右京中央図書館へ出かけましょう。地下鉄東西線にアクセスすれば左京区からでも意外に時間はかかりません。

それから朗報がもう一つ。右京中央図書館の開館に伴い京都市図書館のCDとDVDの相互貸借が始まります。左京図書館でも借り出しと返却ができるのです。楽しみです。すね。

図書館友の会けやきの仲間になりませんか

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ、

一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。

それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと「けやき」を作りました。図書館のスタッフとともに、左京図書館を支え、育てていきたいのです。

こんな活動をしています 一緒にしましょう

子どもたちに絵本を読んだり、人形劇やおはなしも。

赤ちゃんの本選びのお手伝いや絵本についての相談も。

映画上映会など左京図書館の催しに協力したり、

「けやき」のテープ録音や、絵本コーナーの壁面を飾る作品を作ったり。

図書館の現状を調べたり、提案も。ニュースレター「けやき」を発行。

ぜひあなたの思いを形にして

図書館友の会「けやき」の仲間になってください。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方

TEL/FAK 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番

口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送料の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎します。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

けやき情報板

子ども読書の日記をお楽しみ会

場所：左京合同福祉センター3階会議室
(左京図書館の上階)

日時：4月19日(土)午後2時より

小学生によるお楽しみ会

(養正小学校児童)

日時：4月26日(土)午前11時より

人形劇「かっぱどんと てんぐどんと

かみなりどん」他

(図書館友の会けやき)

2008年度 映画上映会

日時：5月30日(金) 8月29日(金)

10月17日(金) 3月6日(金) (予定)

いずれも午後1時30分～3時

場所：左京図書館の上階、3階会議室

内容：世界・美の旅

「ルノワール」「セザンヌ」「フェルメール」等、ヨーロッパの画家別に主要作品を紹介。画家の出身地や活躍の舞台となった地など関連映像も多数盛り込まれています。

心にみりイにくんて本▽でしドそやまとそよ聞い▽
地感ん、メ何感でいを左きたよ語し風すだううでてポ
よ想な新十じもま読京た言うでて物。っかにもきー
いをでしジ回まらすみ図か葉な読何に絵たこ。閑まラ
も言わいがとすう。合書らの響んよも本、れバ連しん
のいイ登大読。も本う館で力きでり触展ともラのたド
で合ワ見きん日の当楽絵しをか頂絵れやつボバ記。に
すうイがくで頃「にし本よ感らい本ら上なラ事絵俄
。のどあ広い子と「さ学うじ生てをれ映がラのが本に
も自つがるど。絵を習。るきそポた会っ知目展関
と由たつ絵もつ本満会(こ生の1かでてド識に後心
(り)て奔りた本たくは喫で(き)とき音ラら歴いのがつ、が
も放、もちづ読し絵)がと楽ん。史きこ、く新わ

編集後記

◇けやき 第27号 2008年3月31日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん

カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方

TEL/FAX 075-721-2625